

研修事例

産地振興人材育成

支援先

結城紬産地

結城紬産地振興人材育成事業

【内 容】

本研修は、茨城県の伝統的な地場産業である結城紬技術者の育成を目的に実施しています。現在、結城紬産地は分業体制であるため、全工程を一人で担うことはありませんが、本研修では機織技術を中心に全工程が理解できる内容となっています。

本年度は4名の研修生を受け入れており、約1年間の研修修了後は県内の製織企業に所属し、産地の即戦力として結城紬の生産に携わっていくことになります。

本研修の修了生は、茨城県本場結城紬織物協同組合主催の「本場結城紬作品展」に毎年数多く入選するなど産地内でも高い評価を得ています。

また織手として経験を積んだ修了生の中には、伝統工芸士認定の取得や機織以外の技術習得に取り組み始めた方もおり、今後の産地を担う人材として活躍が期待されています。

表 1 令和2年度 研修カリキュラム

	期 間	内 容
基礎研修	4～5 月	座学 機結び 糸取り等の基礎実技
第1ステップ	5～7 月	帯製織（手紬糸）染色 下ごしらえ等を含む
第2ステップ	8～12月	着尺無地製織（手紬糸）染色 下ごしらえ等を含む
第3ステップ	12～3月	着尺無地又は縞製織（手紬糸）染色 下ごしらえ等を含む
緋製織実習	1～3 月	100帯状亀甲緋製織（※第3ステップと並行で実施）



図 1 研修風景

（ 1：配色検討 2：染色 3：繰り返し 4：糊付糸はたき 5：箴通し 6：前結び 7：製織 ）

基礎となった事業

令和2年度 人材育成事業（結城紬産地振興人材育成）

現在の担当部門

繊維・紬G

グループ長

篠塚 雅子

TEL:0296-33-4154

主任研究員

中野 睦子

会計年度職員

渡邊 直子